



第61回 運動会

「みんなが笑顔 心を合わせて 絆をつくろう 倉敷支援」



今年は、残念ながら運動会を開催することができませんでしたが、児童・生徒は暑い中全力で練習を頑張り、小学部は予行演習で、中学部・高等部は体育発表会で、素晴らしい演技を披露出来ました。

小学部

低学年では、「キラリン☆にんじゅつがくえん」をテーマにかけっこダンスに取り組みました。1年生は、リングバトンを持ってゴールを目指し、2年生は、玉入れやハードルにも挑戦しました。ダンスでは、みんなで忍者になりきって『勇気100パーセント』を踊りました。中学年では、初めての折り返しリレーに挑戦し、友達にリングバトンをつなぎました。ダンスでは、動きを覚えてノリノリでドラえもんのダンスを踊りました。高学年では、お宝を目指して、5年生から6年生へバトンをつないで走りました。冒険の最後にはお宝のメダルをゲットし、全員で楽しくダンスを踊りました。予行演習ではありましたが、どの学年もみんなで力をあわせて、笑顔あふれる最高の演技を披露することができました。



中学部

30日の体育発表会で、これまでの練習成果を保護者の方に披露することができました。まず『OH! 代官ばやし』と『はしりがき』の2曲を、笑顔いっぱい、元気よく踊りました。途中隊形移動がありましたが、各クラスまとまっての演技ができました。競技では、障がい物リレーを行いました。赤・青・黄の3チームに分かれ、ゴールにシュートしたり、ミニハードルや平均台をクリアしたりして、一人ひとりが自分の役割を果たし、バトンをつなぐことができました。白熱したリレーは迫力満点でした。



今年は、30日に『花笠音頭 ヤッショ、マカショ!』と『バトンをつなげて勝利を目指せ』の、二つの種目に取り組みました。『花笠音頭 ヤッショ、マカショ!』では、赤、黄、青の鮮やかな花笠をそれぞれ持ち、「ヤッショ、マカショ!」と威勢よく掛け声を出しながら、踊りました。『バトンをつなげて勝利を目指せ』では、一人ひとりが一生懸命走りバトンをつなぎ、最後のアンカーがゴールするまで、しっかりと声援を送ることができました。生徒会執行部や体育委員の生徒を中心に開閉会式の司会進行や競技の準備や片付けも協力して行いました。最後は生徒会長から、日程が延期になっても、最後まで練習をがんばったこと、最後まで応援して下さった観客のみなさんに感謝の思いを伝え、笑顔あふれる体育発表会になりました。



伝えることの大切さ～言葉にしなければ伝わらない想い～

私たちは、家族や大切な人への感謝や愛情を、心の中で感じているだけで満足してしまいがちです。しかし、思っているだけでは、意外と気持ちは相手に伝わりません。

私には、母の日が近づくと、いつも思い出す言葉があります。「孝行したいときに親はなし」。私は20歳のときに母を亡くしました。母が亡くなった時、「ありがとう」という言葉を伝えきれていなかったことが、ずっと私の心に重くのしかかっていた。大学3年生の時、あるボランティア活動に参加しました。そこで出会った参加者のお母さんからかけられた言葉が、今でも私の心の支えです。

「今、自分にできることを一生懸命にすることが、最大の親孝行だよ。」

その言葉に救われ、後悔の気持ちから少しずつ解放されました。

「ありがとう」「ごめんなさい」 たった一言でも、忙しい毎日の中で口にするのは難しいかもしれませんが、その一言が相手の心を温かくし、自分自身もほっと軽くなることがあります。言葉にすることで見えてくるものがあります。だからこそ、感謝や思いやりの気持ちは、素直に伝えていきたいものです。

あなたは最近、誰かに感謝の言葉を伝えましたか？ 今日、ぜひ大切な人に「ありがとう」を伝えてみませんか。

中学部教頭 小川 幸浩